

## 協会の概要

### 【目的】

本協会は、産業廃棄物等の適正処理と有効利用を推進し、不法投棄の防止と資源循環等の取組を促進することにより、持続可能な循環型社会の形成と地球環境の保全を図り、もって北海道民の公衆衛生の向上に寄与することを目的としています。

### 【沿革】

- 昭和61年 2月20日 任意団体「北海道産業廃棄物協会」として創立
- 昭和63年 5月16日 公益法人の許可を取得
- 昭和63年 5月20日 「社団法人北海道産業廃棄物協会」として設立
- 平成25年 4月2日 「公益社団法人北海道産業廃棄物協会」として公益法人化
- 平成31年 4月1日 名称を「公益社団法人北海道産業資源循環協会」に変更

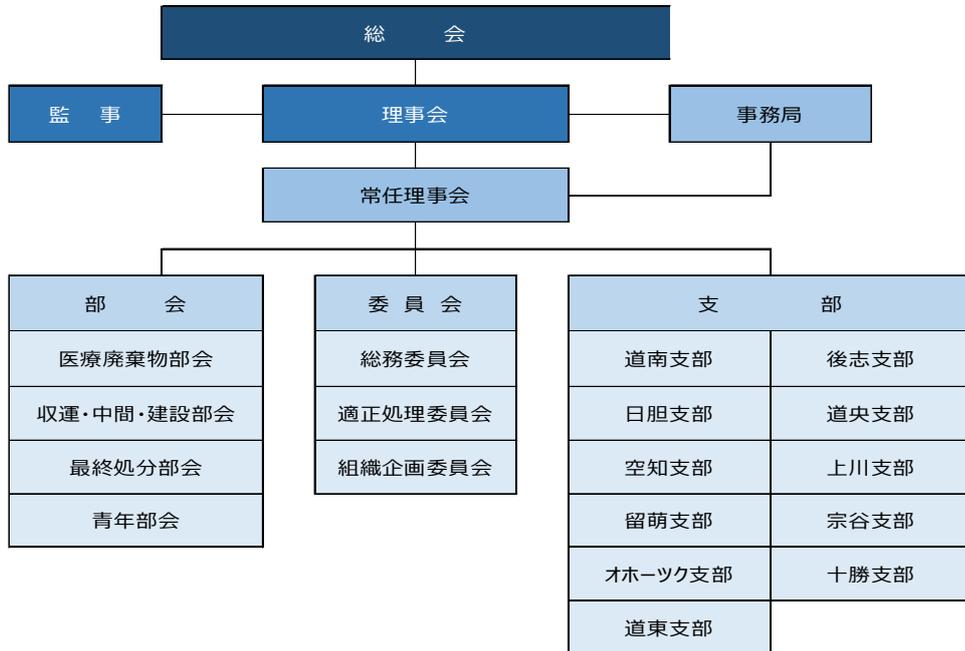
### 【事業】

本協会の目的を達成するため、次の事業を行っています。

- (1) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）を普及、頒布する事業
- (2) 処理業許可申請に関する講習会や特管産廃管理責任者講習会の開催
- (3) 法改正や適正処理などに関するセミナーや各種研修会などを開催
- (4) 優良産廃業者の認定に必要な情報や廃棄物処理施設の維持管理情報を公開
- (5) 環境月間や3R推進月間を活用した産業廃棄物適正処理の普及・啓発
- (6) 市町村等が行う不法投棄等の原状回復等適正処理事業への支援
- (7) 大規模災害時に発生した災害廃棄物の処理に対する協力・支援
- (8) 産業廃棄物等に関する行政機関その他関連団体等との協力・連携



# 協会組織図



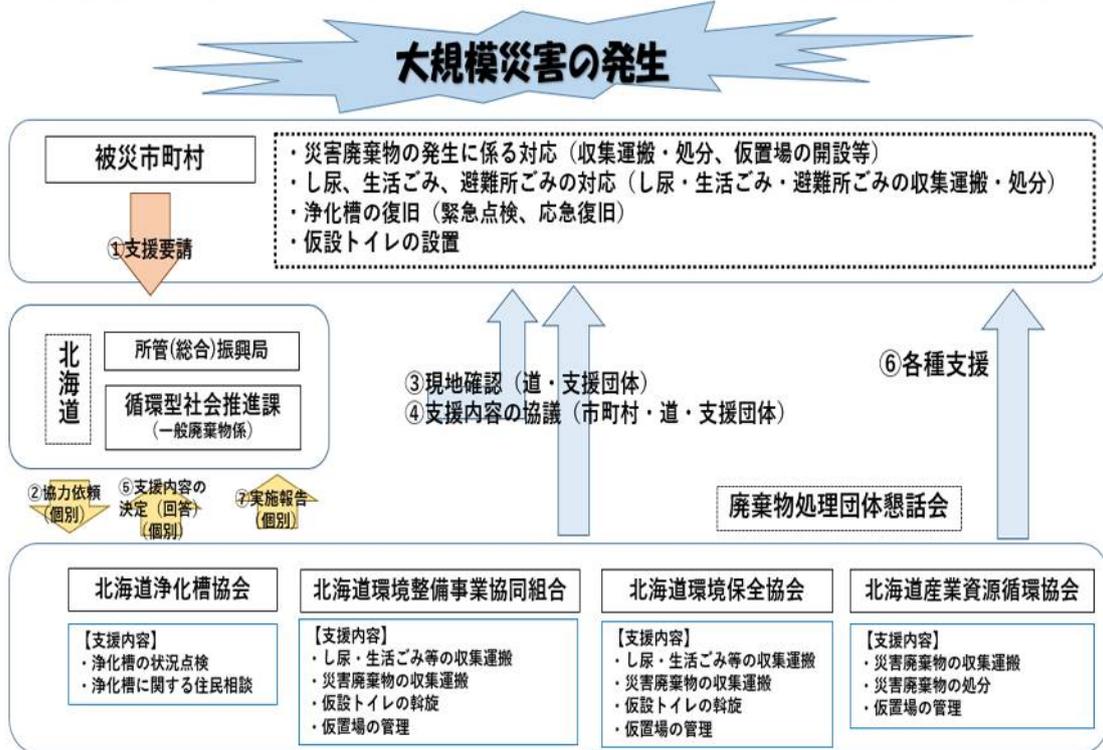
## 【災害廃棄物処理に係る自治体との協定】

協会では、災害時に発生した廃棄物の迅速な処理に貢献するため、各自治体と協定を締結しています。

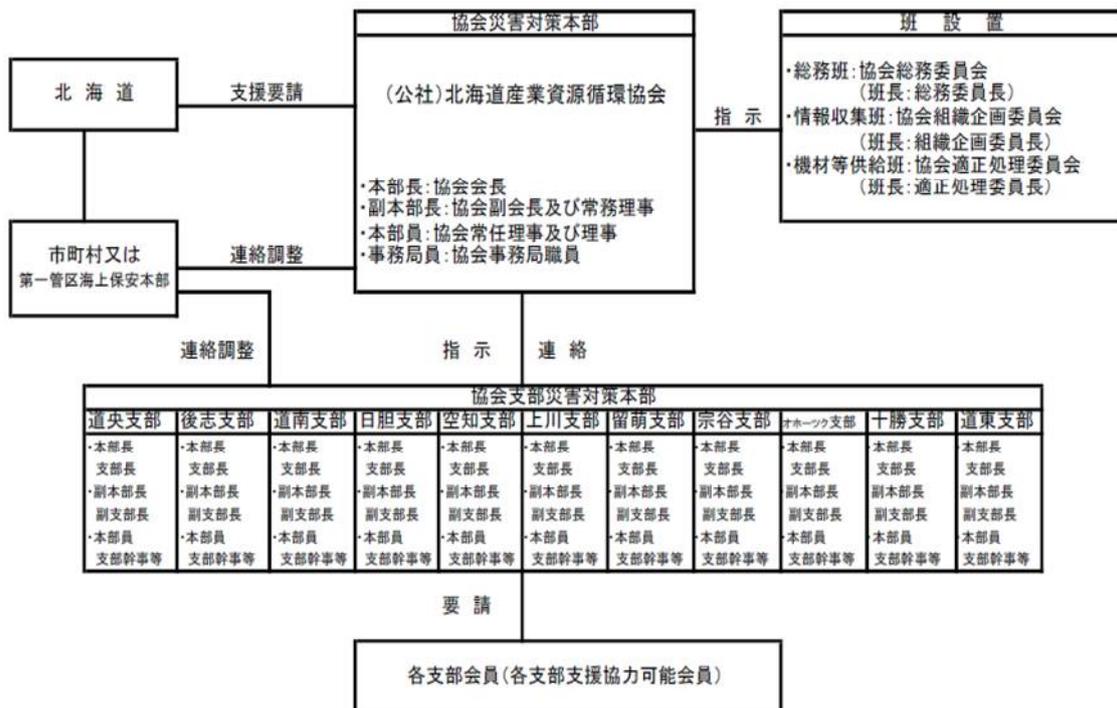
- 北海道（平成 23 年 4 月 1 日）  
「大規模災害発生時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定書」
- 札幌市（平成 26 年 3 月 17 日）  
「震災等廃棄物処理の支援に関する協定」
- 函館市（平成 27 年 12 月 3 日）  
「災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定」
- 旭川市（平成 30 年 2 月 19 日）  
「災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定」



# 災害発生時における廃棄物処理団体懇話会による支援活動の概要図



(公社)北海道産業資源循環協会災害対策本部及び支部本部連絡体制



【災害協定に基づく支援実績】

- 幕別町大型台風災害（平成 28 年 9 月 21 日 北海道知事から協力要請）
  - 実施期間 平成 28 年 9 月 28 日～12 月 13 日
  - 現地対応 十勝支部（会員と直接契約）
  - 処理廃棄物 金属くず、廃プラ、その他
  - 処理実績 撤去・運搬 車両 20 台 88.49 t、廃家電 180 台  
中間処理 破砕 15.44 t
  
- 南富良野町大型台風災害（平成 28 年 9 月 27 日 北海道知事から協力要請）
  - 実施期間 平成 28 年 11 月 15 日～12 月 21 日
  - 現地対応 上川支部（会員と直接契約）
  - 処理廃棄物 木くず、その他
  - 処理実績 撤去・運搬 車両 143 台 1,097 t  
中間処理 破砕 434 t  
最終処分 管理型 663 t
  
- 厚真町胆振東部地震（平成 30 年 9 月 20 日 北海道知事から協力要請）
  - 実施期間 平成 30 年 9 月 14 日～12 月 21 日
  - 現地対応 日胆支部（会員に再委託）
  - 処理廃棄物 がれき類、木くず、金属くず、廃プラ、その他
  - 処理実績 運搬 車両 342 台 1,128 t  
中間処理 破砕・選別 621 t 燃料化 138 t  
最終処分 安定型 83 t 管理型 55 t
  
- むかわ町胆振東部地震（平成 30 年 9 月 14 日 北海道知事から協力要請）
  - 実施期間 平成 30 年 9 月 18 日～10 月 31 日
  - 現地対応 日胆支部（会員に再委託）
  - 処理廃棄物 がれき類、木くず、金属くず、廃プラ、が陶くず、その他
  - 処理実績 運搬 車両 126 台 609 t  
中間処理 破砕・選別 273 t その他 45 t
  
- 安平町胆振東部地震（平成 30 年 9 月 21 日 北海道知事から協力要請）
  - 実施期間 平成 30 年 10 月 23 日～12 月 28 日
  - 現地対応 日胆支部（会員に再委託）
  - 処理廃棄物 木くず、廃プラ、その他
  - 処理実績 運搬 車両 48 台 464 t  
中間処理 破砕・選別 399 t 焼却 20 t 燃料化 41 t

